



インフルエンザ対策は引き続きしっかりと!

平成 29 年 3 月 29 日
富山県感染症情報センター
(直 0766-56-5431)

感染症発生動向速報

(平成 29 年第 12 週分・3 月 20 日～3 月 26 日)

《 インフォメーション 》

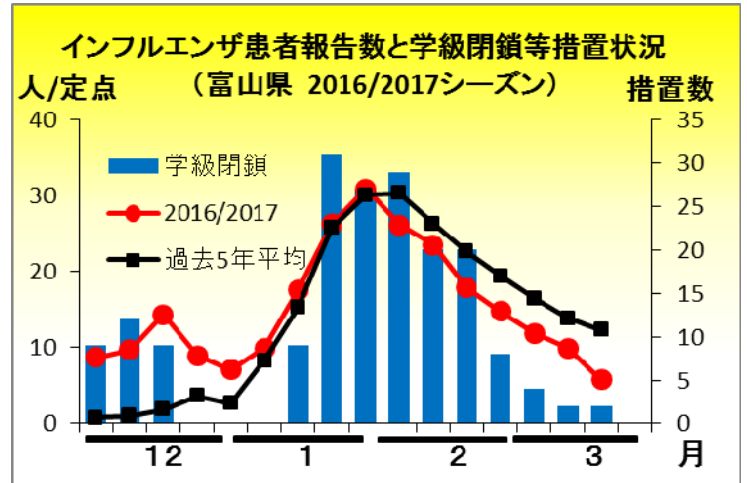
●インフルエンザ

今週、インフルエンザ患者の報告数が定点医療機関あたり 5.73 人となり、先週(9.98)から減少しました。県内では第 5 週(1 月 30 日～2 月 5 日)の定点医療機関あたり 30.92 人をピークに減少しています。

インフルエンザによる学級閉鎖等の措置は今シーズンの合計は、3 月 28 日までに 195 件(保育園・幼稚園 22、小学校 135、中学校 31、その他 7)となっています。

全国のインフルエンザウイルス検出状況は、AH3(香港型)が 4620 件(91.3%)、AH1pdm09 が 158 件(3.1%)、B(ビクトリア系統)が 174 件(3.4%)、B(山形系統)が 110 件(2.2%)となっており、県内では、AH3(香港型)が 117 件、AH1pdm09 が 2 件、B(ビクトリア系統)が 1 件、B(山形系統)が 3 件検出されています。

県内のインフルエンザの流行は、縮小傾向にあるものの、流行は継続しています。
引き続き次のことに注意して感染予防に努めてください。



- インフルエンザ対策の基本は「手洗い・うがい・咳エチケット」
- 発熱等の症状がある場合は無理をせず、登園や登校、出勤を自粛
- 人混みや繁華街への外出をなるべく控え、外出する際はマスクを着用
- 単なるかぜだと軽く考えずに、早めに医療機関を受診

《 全数報告の感染症 》

2類感染症 結核 1件(80歳代、女性)

5類感染症 劇症型溶血性レンサ球菌感染症 3件

(①80歳代、女性 ②第11週診断分：40歳代、男性

③40歳代、女性)

《 定点報告の感染症 》

今週の県内上位6疾患

順位	疾病名	定点あたりの数		
		今週	先週	増減
1位	インフルエンザ	5.73	9.98	↓
2位	感染性胃腸炎	4.59	5.10	↓
3位	流行性角結膜炎	2.43	3.00	↓
4位	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2.07	2.31	↓
5位	流行性耳下腺炎	1.41	1.24	↑
6位	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	0.80	0.60	↑

この内容は以下のホームページでさらに詳しくご覧いただけます
アドレス <http://www.pref.toyama.jp/branches/1279/kansen/>

○感染症発生動向調査報告状況（平成29年第12週 平成29年3月20日～平成29年3月26日）

分類	疾患	今週報告分（第10週）					累積報告数						
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計
二類感染症	結核			1			1	7	2	9	7	17	42
四類感染症	A型肝炎							1					1
	デング熱											1	1
	レジオネラ症									4		2	6
五類感染症	アメーバ赤痢											1	1
	ウイルス性肝炎							1					1
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症										4		4
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症			1		1	2			2		2	4
	後天性免疫不全症候群									1		1	2
	ジアルジア症							1					1
	侵襲性インフルエンザ菌感染症											1	1
	侵襲性肺炎球菌感染症							1		1		5	7
	梅毒									1		1	2
定点疾病 (下段は定点当たりの患者数を示す)	インフルエンザ	49	19	35	41	131	275	1,749	1,233	2,246	1,387	3,072	9,687
		7.00	3.80	2.69	5.86	8.19	5.73						
	RSウイルス感染症	1	2			2	5	16	20	19	7	222	284
		0.25	0.67			0.20	0.17						
	咽頭結膜熱			2	2	2	6	6	8	59	27	50	150
				0.25	0.50	0.20	0.21						
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	4	1	30	8	17	60	46	15	234	110	175	580
		1.00	0.33	3.75	2.00	1.70	2.07						
	感染性胃腸炎	43	20	13	20	37	133	522	298	346	284	899	2,349
		10.75	6.67	1.63	5.00	3.70	4.59						
	水痘		2			5	7	2	9	19	12	45	87
			0.67			0.50	0.24						
	手足口病					1	1			50	5	1	56
						0.10	0.03						
	伝染性紅斑										1	5	6
	突発性発しん	3		3	3	2	11	14	6	32	17	28	97
		0.75		0.38	0.75	0.20	0.38						
	百日咳									2			2
	ヘルパンギーナ							2		4	4		10
	流行性耳下腺炎	7	3	14	4	13	41	55	24	215	55	164	513
		1.75	1.00	1.75	1.00	1.30	1.41						
	急性出血性結膜炎									2	1		3
	流行性角結膜炎			17			17		1	99	1		101
			8.50			2.43							
細菌性髄膜炎							1					1	
マイコプラズマ肺炎	1					1	8	2	4	7	6	27	
	1.00					0.20							
感染性胃腸炎（ロタウイルス）	1			3		4	5		1	8	3	17	
	1.00			3.00		0.80							
インフルエンザによる入院患者（*）			1	4	2	7	49	3	37	83	90	262	

インフルエンザ定点における患者診断状況

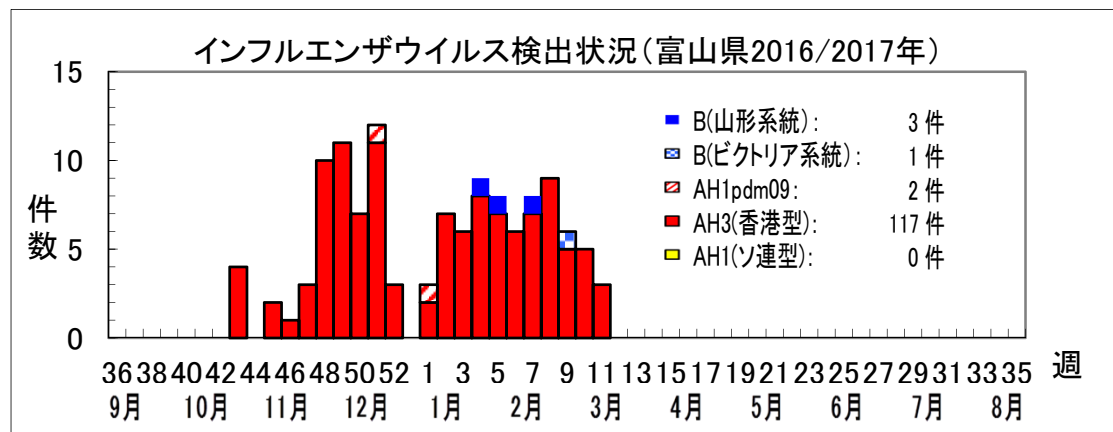
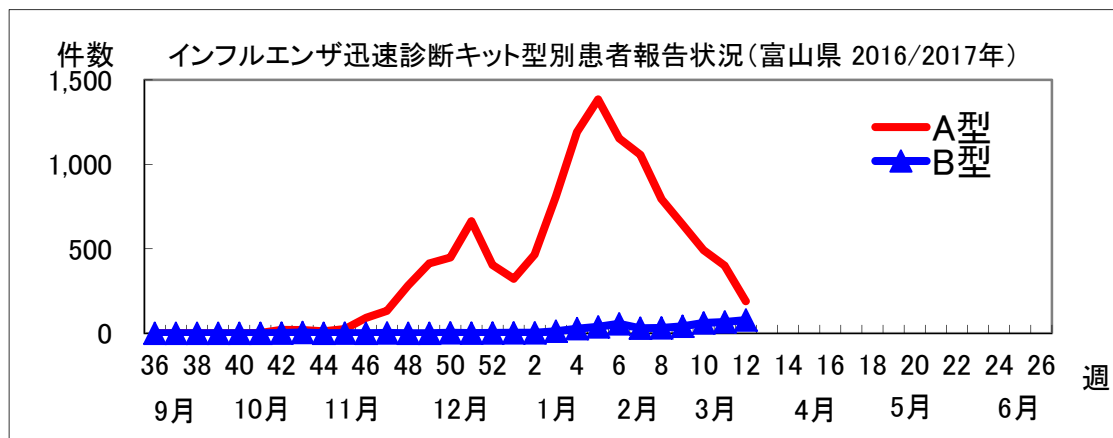
このデータは、インフルエンザ定点医療機関で実施されたインフルエンザ迅速診断キットの診断数を集計したものです。現在、下の表によると、A型が69.1%となっています。

第12週(3/20～3/26)：富山県 5.73人/定点 (単位:件)

厚生センター・保健所名	報告数/定点数	迅速診断キット		その他 ※2	合計
		A型	B型		
新川	6 / 7	36	11	2	49
中部	4 / 5	13	4	2	19
高岡	8 / 13	28	4	3	35
砺波	7 / 7	22	19		41
富山市	15 / 16	91	40		131
富山県	40 / 48 ※1	190	78	7	275
富山県累計(2016年36週～)		11,413	463	426	12,302

※1 報告定点数の例(40/48の場合):48の定点医療機関のうち、インフルエンザと診断した医療機関が40か所あったことを示します。

※2 「その他」には、臨床症状等によりインフルエンザと診断したが型別までは不明な患者や迅速診断キットの結果がA型とB型共に陽性の患者が対象となります。





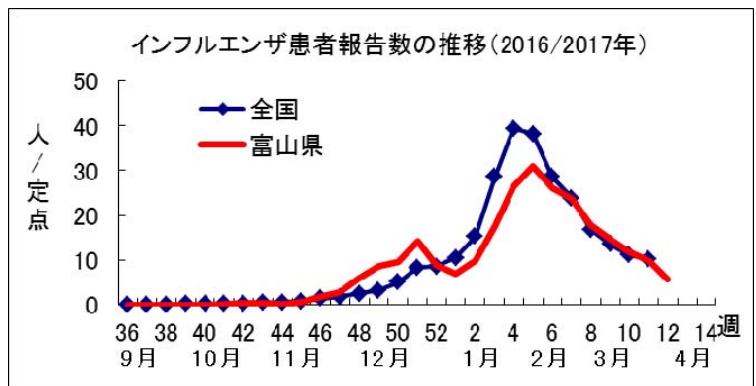
● 定点医療機関からのインフルエンザ患者報告状況

第12週 (3/20~3/26) : 富山県 5.73人/定点

新川 HC (7.00)、中部 HC (3.80)、高岡 HC (2.69)、砺波 HC (5.86)、富山市 HC (8.19)

第5週に県内は警報レベルの目安である定点医療機関あたり 30 人を超えました。

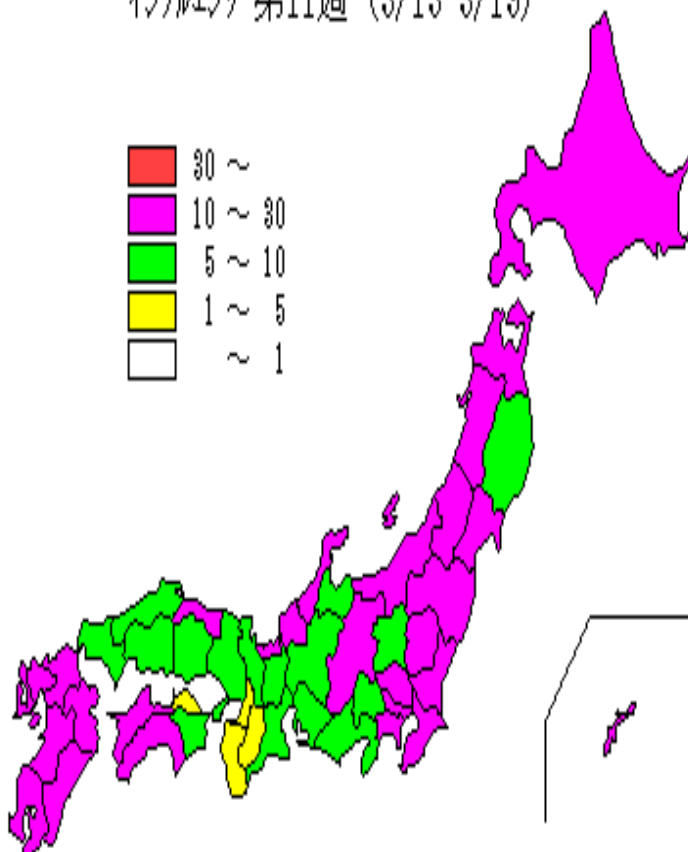
県内のインフルエンザの流行は縮小傾向にあります。依然低いレベルで継続しています。



● 都道府県別インフルエンザ患者報告状況 第11週 (3/13~3/19)

全国の患者報告数は、定点あたり 10.33 人となり、前週の定点あたり 11.09 人より減少しました。35 府県で前週より報告数が減少しています。

インフルエンザ第11週 (3/13-3/19)



都道府県	人/定点	都道府県	人/定点
北海道	12.62	滋賀県	7.36
青森県	10.48	京都府	7.48
岩手県	9.87	大阪府	4.39
宮城県	11.84	兵庫県	5.56
秋田県	13.28	奈良県	4.59
山形県	11.67	和歌山県	3.02
福島県	20.71	鳥取県	12.10
茨城県	11.34	島根県	9.74
栃木県	11.11	岡山県	7.54
群馬県	9.42	広島県	5.70
埼玉県	12.42	山口県	7.32
千葉県	10.16	徳島県	5.65
東京都	10.24	香川県	4.87
神奈川県	10.48	愛媛県	10.52
新潟県	13.13	高知県	11.31
富山県	9.98	福岡県	14.77
石川県	17.23	佐賀県	19.15
福井県	13.53	長崎県	19.76
山梨県	8.05	熊本県	12.54
長野県	11.14	大分県	11.36
岐阜県	8.45	宮崎県	17.17
静岡県	9.21	鹿児島県	10.26
愛知県	8.61	沖縄県	22.84
三重県	7.67	全国	10.33